

大阪信用金庫のサステナビリティ宣言

大阪信用金庫のサステナビリティとは、地域金融機関として、地域のみなさまが安定した繁栄を継続して享受できる社会になるように、大阪信用金庫職員が「自主創造」の精神で取り組み続けることです。

「自主創造」とは

- 将来の大阪信用金庫のあるべき姿を想像し、今あるべきことを自ら考え、行動すること
- 日常のあらゆる業務において問題意識を持ち、創意工夫を取り入れること
- 地域の課題を把握し、地域の発展に貢献するため独自の施策を考え行動すること
- 常に問題意識を持ち、問題の解決のために率先して行動すること

営業店の「自主創造」に向けた主体的な取り組み

地域通貨「やおよ」と絵本・古本の交換スタンプラリー開催

八尾支店では、「みせるばやお」5周年イベントに参加し、読まなくなった「絵本・古本」を集め、地域通貨「やおよ」と交換しました。

その地域通貨を活用し、八尾市と締結した産業復興連携の一環として店内でスタンプラリーを開催し、大変好評をいただきました。今後も地域通貨を活用した自主創造の取り組みを立案し、地域のお客さまに楽しんでいただける催しを行います。



和泉市と包括連携協定締結

4月18日、和泉市役所において、和泉市との「包括連携に関する協定締結式」が行われました。和泉市とともに、様々な地域課題解決に向けて、新たな取り組みを進めていきます。



地元金物団地に協力「脱炭素セミナー」開催

7月21日、東大阪支店において大阪金物団地協同組合、大阪府との共催で「中小企業者のための省エネ・補助金・脱炭素経営支援セミナー」を開催しました。今後も地域に貢献できる活動を続けていきます。



「障がい者に寄り添うプレート提示」実施

松原支店では、「障がい者に寄り添う取り組みのご案内プレート」を作成し、窓口に提示しました。このプレートには、補助犬との入店、車いす利用者の補助や筆談による対応が可能なことをお知らせしています。



● お気軽にお声掛け下さい。

- 当店は補助犬（盲導犬）を連れて入店される方を歓迎します。
- 当店は車いす利用者の補助を行います。
- 当店は筆談での対応を致しております。



「四条畷警察署」との取り組み メディア掲載

四条畷支店では、5月26日、支店の敷地内に併設しているコミュニティホールを活用し、四条畷警察署との共催で、「防犯教室（特殊詐欺防止）」を開催し、その様子が多くのメディアに取り上げられました。



「だいしんワクワク0円マーケット」開催

港支店では、8月23日、2月21日と勝山支店の協力のもと、育児に奮闘する子育て世帯を応援するため、「だいしんワクワク0円マーケット」を連続開催しました。これはご家庭で不要な子供グッズを無料で提供するフリーマーケットです。これからも子育て世帯への取り組みを積極的に行います。



「空き家無料セミナー・相談会」開催

三国ヶ丘支店では、7月24日、一般社団法人さかい空き家バンクのご協力のもと、税理士や弁護士をお迎えし、「空き家無料セミナー・相談会」を開催しました。



大阪信用金庫のサステナビリティ宣言

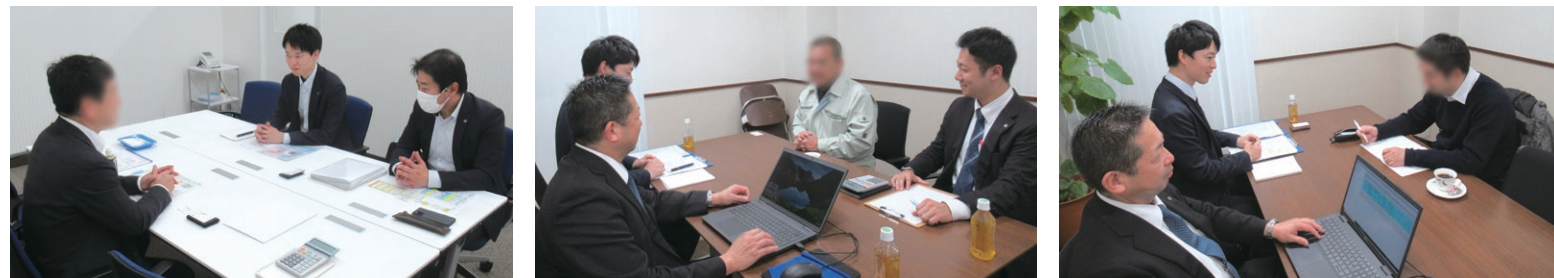
地元教育施設との連携

八尾支店では、「児童発達支援放課後等デイサービス・クローバー春日」に通う発達障害のある子供たちと「スーパーカブの段ボールアート(この街のホームドクター号)」という精巧なバイクを製作しました。当初、言葉数が少なかった子どもたちも、徐々に話しかけてくれるようになり、和気あいあいとした雰囲気の中で作品は完成し、各支店で巡回展示しています。



経営課題解決に寄り添った取り組み

荒森支店、鳳支店、八尾支店では、地域産業振興部企業サポート課と連携し、経営相談会を開催しました。この相談会はヒアリングを通じて多角的な提案やアドバイスを行うことに力を入れた、実践的な相談会です。「様々な公的支援ツールや金融支援方法を教えて頂き、とても参考になりました」という声も聞かれ、お客さまから大変好評をいただきました。



支店内空きスペースの有効活用

はなてん支店では、新店舗移転時から、広いATMスペースの活用方法に課題を抱えていました。

お取引先の都インキ(株)は、金庫若手職員が職場体験でお世話になったSDGsに積極的に取り組む企業です。SDGsへの取り組みに共感した職員からコラボ企画をご提案し、環境に配慮したインクの製造工程や、CO₂削減効果・脱プラの貢献商品である「紙製クリアファイル」などの製品の実物を、ATMスペースに展示しました。

この展示をご覧になった(株)関西ユアイノベーションパートナーは、都インキ(株)のSDGsの取り組みに共感して商品の共同開発を進めることが決定し、思わぬビジネスマッチングに繋がりました。今後もお取引同士をつなぐ地域のビジネスプラットフォームを目指します。



途切れない伴走支援構築に向けて

南森町支店・天六支店・都島支店では、突発的な災害や感染病による休暇が発生しても、お客さまに対する伴走支援が継続できるよう、大阪メトロ谷町線沿線の3店舗合同による「営業店BCP」(事業継続計画)として「営業店間支援制度」を制定しました。

3店舗では、BCPに対する問題意識から積極的な意見交換を行い、支店間の人材バンク応援体制を構築し、切れ目のない支援が可能となっています。特に若手職員に対して転勤に備えた環境適能力の向上を目指しています。



地域の一員として課題解決に積極的に取り組む

玉造支店では、玉造日之出通り南商店街と連携してフードパントリーを開催しています。また、特殊詐欺被害防止や車上荒らしへの注意喚起を目的に、天王寺区内の安全を見守る「ランニングパトロール」を各団体(警察・郵便局・区役所など)と共に行っています。

このような継続的な取り組みが認められ、天王寺区民センターで開催される生活支援体制整備事業「天王寺区のつながり情報交換会&地域サロンボランティア連絡会」に出席し、地域課題の解決に向け様々な意見交換を行いました。

これからも、地域が住み良い街となるために、この取り組みを継続して行っていきます。



未病予防で健康づくりを推進

泉大津支店では、「泉大津市健康づくり推進条例」の取り組みに賛同し、共同で「おでかけ保健室」という出張講座を開催しました。

この講座に地元の中小企業をお招きし、健康経営優良法人認定取得を推進するだけでなく、泉大津市から保健師を派遣してもらい各種測定会も実施しました。さらに第2弾として「毛布材料でモフ草履を作って健康になろう!!」も開催し、多数のお客さまにご参加いただきました。これからも、泉大津市内の事業所に勤務する従業員の健康づくりに協力し、連携を強化していきます。

